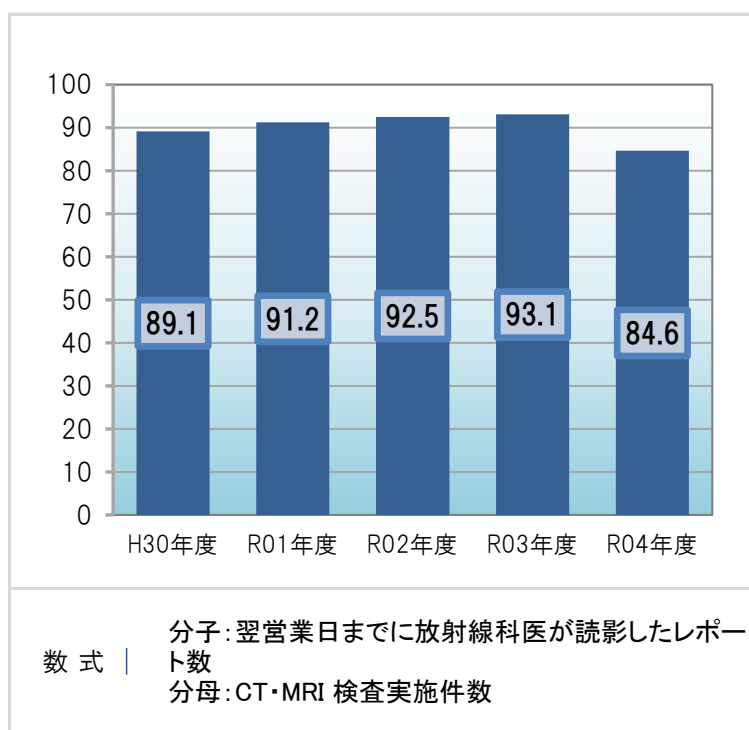


15 放射線科医がCT・MRIの読影レポート作成を翌営業日までに終えた割合

● 項目の解説

高度な医療を提供するためには、画像診断をより早く、より正確に行うことが必要です。放射線科医によるCT・MRIの画像診断結果が翌営業日までに提出された割合を表現する指標です。また、CT・MRIが放射線科医の監督の下に適切に行われていることを示す指標ともいえるので、実施率が高いことが望まれます。画像診断管理加算2または画像診断管理加算3(80%以上が算定要件)の施設基準を取得していない国立大学病院は数値が必然的に低くなります。

● 当院の実績



単 位 | 割合 (%)

期 間 | 年間

備考

CT・MRI が放射線科医の管理の下に適切に行われていることを示す指標ともいえます。なお、当院では平成24年7月より画像診断管理加算2、平成30年4月からは画像診断管理加算3の算定を開始しており、レポート作成率は80%以上を維持しています。

令和4年度国立大学病院平均値 91.98%

● 定 義

1年間の「翌営業日までに放射線科医が読影したレポート数」を「CT・MRI 検査実施件数」で除した割合 (%) です。「放射線科医」とは医科診療報酬点数表の画像管理加算の要件に従い、経験10年以上、専ら画像診断に従事するものを指します。